映像

森林空間を使ってどんなまちに

「緑住文化都市」実現し魅力向上

廣野（ひろの） 房男（ふさお） 議員

令和6年5月、幸田町は「SDGs未来都市」に選定された。森林サービス産業の推進等に弾みがついた。

問 **森林空間を使って未来につなぐまち幸田の具体的構想は。**

答 **環境経済部長▼**里山の保全をはじめ「緑住文化都市」を実現し、まちの魅力と地域の活力を向上させる。

問 **町村では初の「SDGs未来都市」選定である。森林空間で未来につなぐまち幸田を達成し、持続させるための考えと覚悟のほどは。**

答 **町長▼**他市町の具体的に実践しているところを学び、森林サービス産業を中心とした施策を展開する。

里山で遊ぶ保育園児

映像

終活支援の充実とわかりやすい周知を

啓発と効果的な周知方法を検討する

岩本（いわもと） 知帆（ちほ） 議員

人生100年時代を迎え、人生の最終段階を自分らしく最期の準備である終活の重要性が高まっている。町の支援を問う。

問 **町の終活支援の現状は。**

答 **健康福祉部長▼**平成30年に作成したエンディングノートを昨年11月に更新。今年の1月に終活セミナー及び相談会を開催した。

問 **身寄りがない高齢者への終活支援は。**

答 施設入所時の身元引受人や遺品の整理など様々な課題が考えられるため、元気なうちに地域包括支援センターに相談やエンディングノートの作成、終活セミナーへ参加など、独居高齢者の増加に伴う事業実施を考えていきたい。

問 **終活支援のさらなる充実と効果的な周知を。**

答 エンディングノートの活用は、終活を考えるきっかけになる。福祉課及び地域包括支援センターの活動で配付・啓発し、効果的な周知方法を関係機関と検討していきたい。

エンディングノート

野坂（のさか） 純子（じゅんこ） 議員

アピアランスケアにエピテーゼも対象に

映像

他市町の状況を調査し検討していきたい

福祉施策（がん支援）の充実について伺う。

がんで顔や身体の一部を失った場合、エピテーゼ（人工の耳、目、鼻、頬、指など）によって生活や外見の自信を取り戻すことができるが、保険適用外である。そこで問う。

問 **本町の現状（アピアランスケア）は。**

答 **健康保健担当参事**▼令和6年度は医療用ウィッグ19件、胸部補正具3件、合計22件、補助対象経費の半額（上限2万円）。

問 **アピアランスケア（医療用ウィッグ、乳房補整具）にエピテーゼも補助対象に。**

答 他市町の状況等も調査し検討したい。

授乳室に「搾乳」マークの明示追加を

公共施設に協力と周知を呼びかけていく

育児と仕事の両立を目指す母親が増える中、授乳や搾乳が必要だが。

問 **町内公共施設における授乳室に「搾乳」マークの明示を。**

答 **健康保健担当参事**▼町民会館など8カ所の施設に協力と周知を呼びかけていく。

授乳室に「搾乳できます。」を明示

長谷川（はせがわ） 進（すすむ） 議員

地球温暖化への対応は

映像

温室効果ガス排出量削減を目指す

内閣府から、SDGs未来都市に選定された。町の地球温暖化施策を問う。

問 **国の温室効果ガス46％削減に準じて実施するのか。**

答 **環境経済部長**▼同じ目標で取り組む。

問 **SDGsの取り組みは、できること・できないことが有り、企業と共同で取り組む考えはあるか。**

答 行政単独での取り組みには限界が有り、ノウハウを持った民間事業者と事業を共に推進していく。

バイオマス農業

問 **近隣企業は生活の中から出るバイオマス（廃却資源）を活用し、熱・電気を生み出す事業や、農作物の成長を促す肥料開発に取り組み、成果を確認。町内から排出されたバイオマスを、有効利用する町としての考えは。**

答 バイオマス資源を研究している民間の技術や取り組みが、好循環形成を資する取り組みであれば、行政との協働も可能と考える。

バイオマス事業（循環型農業サイクル）